

Wri News Letter No. 56

1978年3月29日 戦争抵抗者インターナショナル日本 大阪市あべの区 船町 2-12-2

原発 予定地 日高へ行く



水田ふう

和歌山県日高郡日高町小浦地区、原発誘致を議決するという情報が入った。

「原発予定地が密集している同じ南紀の中でも、たとえば日高と那智勝浦とは、まだお互い連絡関係がない。原奥連の市民講座に両方の人たちを呼ぶことで、都会に現地のようなすゝみ知らせることもできるし、これがキッカケになって、現地同志の連絡関係が芽ばえるだろう。」

「それにしても、呼ぶだけではなしに私たちも何らかの形で現地の人に應えるという姿勢をつくっておく必要がある。」

「ともかく、まず日高へ話を聞きに行こう。」
 それで3月5日の日よう、原奥連の有志10人が出かけることになったのである。

x x x

原奥連にあつまる頼ぶれの大半は、反原発ということで知りあった新しい仲間だ。とにかくみんなはりきっていて、こちらの気分も新鮮。とくに女性陣が頑張っていることがうれし。まるで私は遠足気分、いつものこ

とく、軽ハクにでかけたのである。

x x x

大阪天王寺から紀勢線、急行でおよそ2時向・御坊駅下車。そこから一日三便のバスに乗るかタクシードラッグ、約二十分強。そこが和歌山県日高町小浦である。

原発はものすごい過疎に達するといふ話を聞いていたものだから、どんなところかと思っいたら過疎どころか、駅前には、タクシートの順番を待つ客でいっぱい。大阪からはわずかに三時間（直線より一五〇キロ）あつという向についてしまった。

すでに連絡がついていて、私たちを現地反対派の人たちが待っている会場というのは、民宿の看板がかかっているKさん宅。

私は、せいせいニ、三人の人たちと会って話をさくぐらいいと想っていたので、いきなりこっちが10人も押しかけていくことに少し気がひけていた。ところがはじめポツポツ、しまいにはなんと30人もの人たちが部屋をうらめつくしてしまった。

本紙届くまで送料希望の方は、宛名記入・五〇円の手配封筒五枚と一枚を二枚、ウリ事務所に送下す。紙代は無料

○使用済の切手はとくに高額、また日記念のものをエレクトロシオンしています。カンパ代りに送つて下さい。

この小浦地区、全戸数六十五。漁師はその半数弱。

いまこの小さな村は、南電によって反対派と賛成派にわけられ、まっぴらつに対立をしいられている。

「しようのうをかうのに、反対派の店は売ってない。今日は、となりの村まで買いにいって来た」というような状況だ。

関西電力は、小浦に「立地部」を設け、常駐メンバー三人を置いてエ作活動をしている。立地部に宿をかしている民宿の主人は、はじめ反対派だったのだが、南電さんが泊まってくれるということで賛成派にまわってしまった。

原発が出来ることではっきりと被害を蒙る漁師は全員反対を表明しているのだが、区長をはじめ村の有力者は完全に南電の手に落ちていて、半数以上を占める半農半ラリーマンも同様。

土地は、すでに南電に買いしめられている。それも土地の地主は、はじめ町長個人に売ったのだが、いつのまにか町長の手から南電に売渡されていた。その土地は、この会場のすぐ裏山をこえたところで炉心が設置されるとなると、こままで三百米もない。

ついでに云うと、地元の猛反対で「白紙撤回」させた小浦のすぐ向いにみえる阿尾地区の土地は、たんぼが地震で沈下して使いものにならないところを資材置場にするということ、何人もの人が大信製

材に売ったのだが、これがいつのまにか、大信製材に融資している三菱商事が担保にとつて、南電にころかしていた。そして突然原発を建てるという話になつていったといういきさつがある。現在百四十二人が原告になって、約東遷反ということで裁判中。しかし、地震で沈下した場所に原発を建てるというんだから、あいた口がふさがらない。

ひととよりの情報報告をしたのが、日高町会議員19人のうち、唯一の反対派議員丁さん。六十才位だろうが、丁さんは阿尾の反原発運動にずい分と力をつくされた方で、そのため人からは気狂いといわれ、たまたみやさんだったのだが阿尾で高売ができなくなつてしまったという。それと時々、口を添えたのが小浦地区の指導格らしいHさん。あとは、おばさんたちが、うしろの方で口々に何か云っているのだが、Hさんに「うるさい」と注意をうける。私は、こんなおばさんたちの話を、と聞きたかったのに……

Hさんは、おばさんたちの口を封じるためにうるさいといつたのではないと思うのだが、へ前で発言することになれていないおばさんたちは、いいたいことがあつても、となりの人に話すかたちになつて大きなガワメキとなり、つい「うるさい」という注意になつたんだと思う。こんなとき、私たち自身

なかつた者はいなかつたらう。映画の西と阿木さんの、実際での身ぶり手ぶり、非暴力的な対心の仕方などを交えた、シリアルブック斗争参加の経験談は、みんなに非暴力直接行動へと開眼する契機をつくりだすものともなつた。それは、また日本の反原発斗争を闘う人たちに、たいかけごえや他国の語としてでなく、自分のものとしての非暴力直接行動をようやく走らせやる、最初の銘記すべき時向だつたといつてよい。

二つの集りを主催した人神戸NDの会とその世話役、TさんMさんに心から感謝したい。

おしらせなど



◎原田建・市民講座オ三回。3月29日PM6:30

入原発DRはどう仕組まれているかー原発仕掛人たちの手口をあばくー 講師・吉田留弥さん。会場環状線ー森ノ宮下車徒歩4分。大阪府金庫本店会議室。会場に300円。へ吉田さんはウリのなかまでもあり、反広告会試の活動者として、たとえば朝日ジャーナル臨時増刊にも紹介されている「原発回遊」への反広告の分野から発言してきた方です。

巧妙な原案推進広告が、さりげなく至るところで目につきます。それをどのように打破していくか。まず敵の手のうちをしるためにも、またそれそのも

のの中に、現代科学文明の巨きな陥穽を見破るためにも、ぜひききにきて下さい。

◎反植民地天皇制連続講座。3月31日 PM6:30

△アメリカ対日宣伝ドラマにみる天皇陛下の二大戦で日本兵向けにつくられた宣伝ビラは、天皇をどう扱っていたか。宣伝映画ではー講師・山本明さん。会場・環状線芦原橋下車3分解放センター 400円

◎4月8日PM3:30 9日PM4:30まで。非暴力直接行動

レーニング・合宿セミナー。映画「虹」の民でみたように、シリアルブック原案地占拠を行った人たちは千人のほとんどの、このレーニングをうけた人たちだつた。トレーナー阿木さんによつて具体的に体をうごかし、柔軟な思考そのものの表現としての行動を学ぶ。いま住民斗争、個別斗争にか、わつていく人にとつては、まさに新しい武装をもつことになりそう。参加費 食事とも二千円。会場ー神戸エスカウンタースクールの西宮六甲並下車(06-858-3188) 定員5人位迄(寝袋又は毛布などできれば持参のこ) 申込みはなるべく早く。(ウリでも取ります)

◎今号はあう君がはりきつてレホをニツかいた。引継ぎ奴等はるり子はんのへ花咲大伴戦記 20日のへ使爾清核燃料学習会へで仕入れたおそろしいとしか云えない新智識のレホなど、すぐ出します。

発行。大阪府あやの区船場2-12-1の戦車地蔵堂インテリ日本印刷株式会社。http://www.utsuribuban.com